

卓球で、生き生き健康

第1回市長杯大会を開催



「第1回市長杯において、はつらつとプレーすることを誓います」と力強く選手宣誓した鹿野たまゑさん（迫町）



各コートで年齢を感じさせないはつらつとしたプレーが繰り広げられました

第1回登米市長杯争奪ラージボール卓球大会（市体育協会主催）が9月21日、中田総合体育館で行われました。開催の契機となったのは昨年10月、宮城で開かれた第25回全国健康福祉祭（ねんりんピック）。ラージボール卓球競技を当市で実施したことから、市長杯として開催しました。

大会には、51歳から79歳までの県内の卓球愛好者、男女合わせて36チーム116人が参加。各コートで熱戦が繰り広げられました。競技の結果、男子団体では仙台ベテラン会（仙台市）が、女子団体では仙台女子会（同）がそれぞれ優勝し、市長杯を手に入れました。



沿道にひまわりを植えていく「ひまわりロード作戦」を実施した南町昭和会

道路の美化清掃に長年努めたとして、登米町道路愛護会（鎌田芳治会長）が国土交通大臣と公益社団法人日本道路

協会から、中田町の南町昭和会（大坂良通会長）が国土交通大臣から表彰されました。登米町道路愛護会は平成22年12月に設立。毎月1日を定期清掃の日と定め、とよま観光物産センター「遠山之里」付近の県道と市道の清掃活動を行ってきました。南町昭和会は平成14年5月に設立。地区内にある石ノ森章太郎ふるさと記念館の来訪者を出迎えようと、県道の路肩にひまわりを植える「ひまわりロード作戦」を実施してきました。

長年の道路美化称え

2団体が国交大臣表彰



登米町道路愛護会による清掃作業



メイン会場の迫体育館には、見て触れて、体験できる35のブースが設置。多くの人でにぎわいました

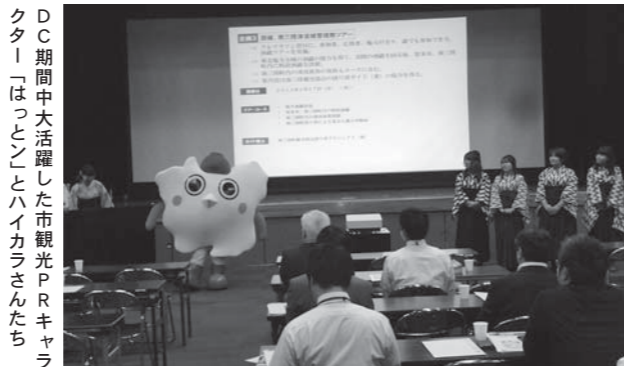
産業フェスにぎわう

登米のモノづくり集結

今年で9回目となる産業フェスティバルが10月6日、迫体育館と迫中江中央公園を会場に開催されました。今年の産業フェスティバルでは、市内企業などが生産品や加工品を、市内高校が学習制作品などを展示。登米グルメ村と軽トラ市も同時開催され、見て触れて体験できる約50のブースが屋内外に出展されました。当日は市内外から大勢の人が来場しました。家族3人で訪れた渡邊宏紀さん（迫町）は「地元の産業の展示とおもしろいものを目当てに来ました。娘（彩日ちゃん）も輪投げやお絵かきで楽しんでいました」と話していました。



木のツタで作った輪投げコーナーで楽しむ来場者



DC期間中大活躍した市観光PRキャラクター「はつとん」とハイカラさんたち

市のDC取り組み検証

成果報告会を開催

県内で今年4月から6月にかけて実施された「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン（DC）」の市の取り組みを検証する成果報告会が、10月3日に開かれました。中田農村環境改善センターでの報告会には商工業や観光団体の代表者など約30人が出席。市観光物産協会おもてな

し推進委員長の渡邊優さん（登米町）ら3人が取り組み事例を発表しました。市ではDC期間中、花と食をテーマにさまざまなイベントを展開しました。観光で登米市を訪れた人は約78万人で、震災が発生した一昨年の同時期58万人から大きく回復しました。

県の赤十字活動に貢献

登米市から3法人が受章

県内の赤十字活動を支えている赤十字社員の功労・功績を顕彰する平成25年度の社功労者伝達式が、9月24日に仙台市内のホテルで行われ、登米市の㈱日進運輸建設（東和町）が金色有功章を、㈱ホテルニューグランドヴィア（迫町）と㈱宮城県食肉流通公社（米山町）が銀色有功章をそ

れぞれ受章されました。県内の金色有功章の部の法人の受章者は3法人、銀色有功章は17法人でした。市内の個人受章者はいませんでした。日本赤十字社の社資は、災害復興支援事業や医療事業、国際活動、赤十字奉仕団の活動に生かされています。



法人・団体の部で金色有功章を受賞した㈱日進運輸建設の小出清子専務（右）